

これからは

私たちが

続ける番です

イエスが十字架につけられた後、弟子たちは恐怖と不安に襲われ、家に閉じこもっていました。

聖ヨハネは、イエスが三日目に復活されたこと、そして、弟子たちに現れ、ご自分が行った業を続けていく使命を彼らに与えられたことを書き記しています。

「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす」  
(ヨハネ20, 21)

「私があなたがと共において、あなたがに教えたことを覚えていますか?これからは、あなたががそれを続ける番です。自分が受けた福音をすべて人に告げ知らせなさい。神さまは全ての人と出会い、皆が兄弟姉妹であるように望んでおられます」

人は神様に創られたものであるがゆえに、他の人とつながってほしいという望みを心の奥底にもっています。あらゆる文化の中にもすでに、共存関係を築こうとする傾向がみられます。

でもそうするために、どれほどの労苦と困難を伴うことでしょうか!

今もイエスは、私たちに信頼し、私たちに招き続けておられます。

「父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす」

招きを受けた私たちは、それにどう応えればよいのでしょうか?

決して一人でできることではありません。そのためにイエスは特別な贈り物を私たちに下さいました。それは聖霊です。聖霊は私たちが全ての人を愛し、敵をも愛することができるように私たちに支えます。

「洗礼の時与えられた聖霊は、愛と一致の霊ですから、すべての信者と復活されたお方を一つに結び、文化、社会層の違いを越えてお互いを一つにします。私たちに孤立させ、自分と異なる人を排斥し壁を築くのは、私たちの利己主義です。聖霊の声を聞きながら、私たちの中には分裂の芽を乗り越え、お互いの交わりをもっと成長させましょう」

キアラ・ルービック

今月私たちも、日々の出会いの中で、愛について語るイエスの言葉を思い出し、実践しましょう。



実践できた行いに、X印をつけましょう。

こうして、イエスの招きを受けた私たちも、彼の業を続けることができます。

相手を受け入れる	話を聴く	いっしょ
対話をする	勇気づける	仲間に入れる
注意を注ぐ	赦し合う	相手の良いところを見つける

